

消化器・総合外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。手術前の説明時に、切除標本の医学研究への使用にご協力を同意していただきました内容に則して適正に実施致します。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 胃癌における術前進行度診断の過小・過大評価に関連する因子の検討

[研究機関] 奈良県立医科大学附属病院 消化器・総合外科

[研究承認] 当大学の倫理審査委員会での審査を経て学長より許可されました。

[研究実施期間] 2022年12月31日までを予定しております。

[研究代表者] 右田 和寛（消化器・総合外科）

[利益相反] 本研究に携わるすべての研究者はいかなる利益相反も有していません。

[研究の目的] 本研究は、胃癌患者さんの術前進行度（ステージ）の現状での正診率と進行度の過小・過大評価に関連する因子を探索することを目的とします。

[研究の意義] 胃癌では、適切な治療方針を決定するために正確な進行度診断が求められます。進行度が過小に評価されれば、治療が不十分となる可能性があり、逆に過大に評価されれば、不必要な治療がなされる可能性があります。本研究は、胃癌の術前進行度診断の現状での正診率を調査するとともに、進行度の過小・過大評価に影響を及ぼす因子を検討します。本研究は、胃癌患者さんの治療方針決定の一助になるものと考えられます。

[研究の方法] 様々な因子が進行度の過小・過大評価に与える影響を統計学的に検討します。

●対象となる患者さん

2001年1月より2017年12月までの間に当院で進行度I-IIIと診断された胃癌に対して根治的胃切除術を受けた方。

●利用する情報

手術時点での以下の情報に加えて、2017年3月までの当院最終受診日、生存情報を診療録から収集いたします。

- 患者情報：手術時年齢、性別、生存情報、術後生存期間、死亡原因、術後補助化学療法の有無・種類
- 手術情報：手術術式、リンパ節郭清程度
- 腫瘍情報：腫瘍肉眼型、腫瘍占拠部位、組織型、腫瘍径、臨床的・病理学的壁進達度、臨床的・病理学的リンパ節転移、臨床的・病理学的遠隔転移
- 血液検査結果：血性CEA値、血性CA19-9値

[個人情報の取り扱い]

カルテから、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報を削除した上で、上述の情報のみを残したデータを用いて解析します。

[患者様の負担や利益] 本研究による患者様の負担や利益は生じません。

右田 和寛

*上記の研究にカルテ情報等を利用することをご了解いただけない場合や、研究に関する資料閲覧の希望などの問い合わせがありましたら、下記にご連絡ください。なお、ご了承いただけない場合に何らかの不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

奈良県橿原市四条町 840

奈良県立医科大学附属病院 消化器・総合外科 担当医師 右田 和寛

電話 0744-22-3051 (内線: 2318) FAX: 0744-24-6866 e-mail: surg-1@naramed-u.ac.jp